

中央区内景气动向调查

平成 27 年 6 月调查结果

平成 27 年 7 月 21 日

中央区

総 括

平成 27 年 6 月の動き

中央区内における 6 月の現状判断 D I は合計で 51.5 と、前回調査から 2.1 ポイント低下している。景気の先行き判断 D I は合計で 54.5 と前回調査から 4.7 ポイント低下している。

図表 景気の現状判断 D I、先行き判断 D I (合計)

(D I)	平成27年			前回調査
合計	2月	4月	6月	からの変化
現状判断 D I	46.1	53.6	51.5	(-2.1)
先行き判断 D I	52.8	59.2	54.5	(-4.7)

目 次

調査の概要	1 頁
調査結果	
1 景気の現状に対する判断	2 頁
2 景気の先行きに対する判断	3 頁
3 現在の景気水準に対する判断（参考）	4 頁
4 判断理由	
(1) 景気の現状に対する判断理由着目点	5 頁
(2) 景気の現状に対する判断理由	6 頁
(3) 景気の先行きに対する判断理由	8 頁
（別紙）調査客体の分野・業種別人数構成	10 頁
中央区内景気動向調査 調査票	11 頁
(1) 家計動向関連	
(2) 企業動向関連	

調査の概要

1 調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の客体

中央区内の家計動向関連、企業動向関連で、代表的な経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種において、適当な職種の中から選定した 50 人を調査客体とする。調査客体の分野・業種別人数構成については、別紙を参照のこと。

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) の理由
- (3) (2) の追加説明及び具体的状況の説明
- (4) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (5) (4) の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4 調査月及び調査期間等

調査月は年 6 回の隔月に当月時点で実施、調査期間は調査月の中旬約 1 週間で、平成 27 年 6 月調査の調査票発送は 6 月 9 日（火）、回答期限は 6 月 17 日（水）である。

5 調査機関

本調査は中央区が主管し、委託先である株式会社日本経済研究所を取りまとめ調査機関として実施したものである。

6 有効回答率

調査客体 50 名に対し、有効回答客体は 50 名、有効回答率は 100.0%であった。

7 DI の算出方法

景気の現状、または、景気の先行きに対する 5 段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じて、DI を算出している。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	良くなる (良い)	やや良くなる (やや良い)	変わらない (どちらとも いえない)	やや悪くなる (やや悪い)	悪くなる (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

1 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての中央区内における現状判断DIは合計で51.5と、前回調査から2.1ポイント低下している。分野別にみると、家計動向関連DIは55.0と、前回調査から2.3ポイント低下し、企業動向関連DIは48.0と、前回調査から2.0ポイント低下している。構成比では、「変わらない」と回答した人の割合が9.1ポイント減少し、「やや悪くなっている」と回答した人の割合が5.8ポイント増加した。

図表1-1 各分野における景気の現状判断DIの推移表

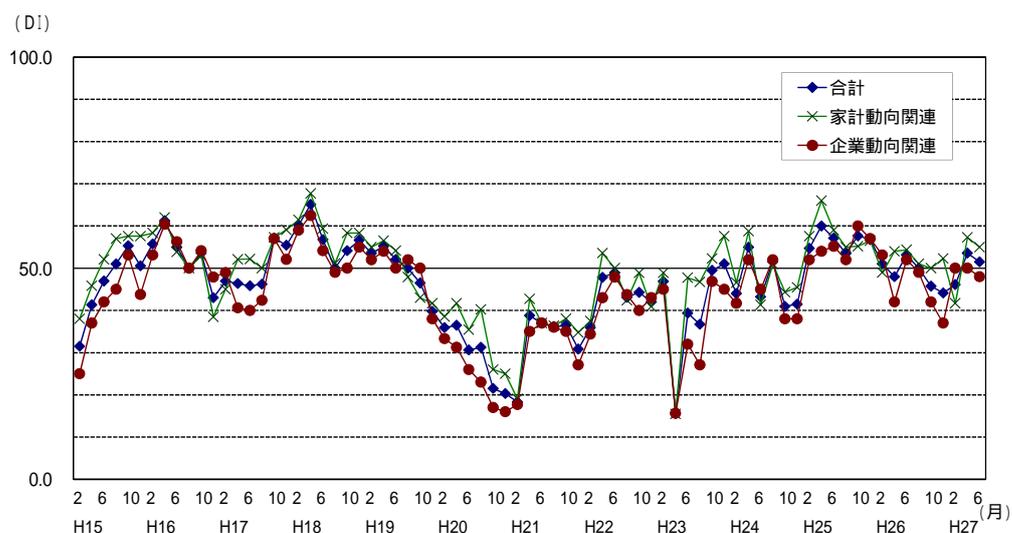
(DI)	平成27年			
	2月	4月	6月	(変化幅)
合計	46.1	53.6	51.5	(-2.1)
家計動向関連	41.7	57.3	55.0	(-2.3)
小売関連	38.6	52.1	50.0	(-2.1)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	40.0	67.9	60.7	(-7.2)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	50.0	50.0	48.0	(-2.0)
製造業	42.9	50.0	46.4	(-3.6)
非製造業	52.9	50.0	48.6	(-1.4)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表1-2 構成比

年	月	良く	やや良く	変わらない	やや悪く	悪く
		なっている	なっている		なっている	なっている
平成27年	2	0.0%	17.8%	57.8%	15.6%	8.9%
	4	2.0%	26.5%	57.1%	12.2%	2.0%
	6	2.0%	28.0%	48.0%	18.0%	4.0%
(変化幅)		(0.0)	(1.5)	(-9.1)	(5.8)	(2.0)

図表1-3 各分野における景気の現状判断DIの推移



2 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の中央区内における景気の先行き判断DIは合計で54.5と前回調査から4.7ポイント低下している。分野別にみると、家計動向関連DIは57.0と、前回調査から7.6ポイント低下し、企業動向関連DIは52.0と、前回調査から2.0ポイント低下している。構成比では、「変わらない」と回答した人の割合が13.2ポイント増加し、「良くなる」、「やや悪くなる」と回答した人の割合が6.2ポイント減少した。

図表2-1 各分野における景気の先行き判断DIの推移表

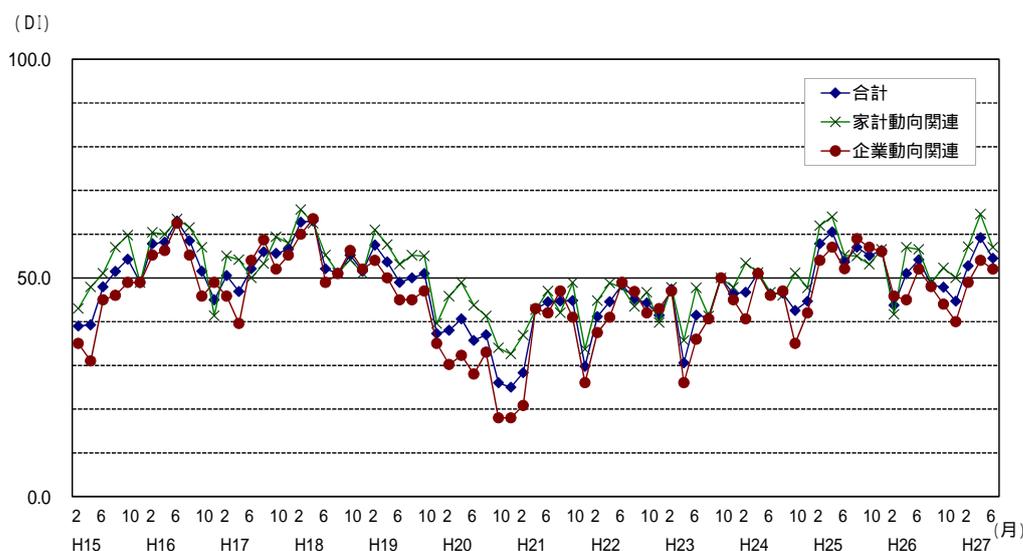
(DI)	平成27年			
	2月	4月	6月	(変化幅)
合計	52.8	59.2	54.5	(-4.7)
家計動向関連	57.1	64.6	57.0	(-7.6)
小売関連	52.3	62.5	51.9	(-10.6)
飲食関連	-	-	-	(-)
サービス関連	70.0	67.9	60.7	(-7.2)
住宅関連	-	-	-	(-)
企業動向関連	49.0	54.0	52.0	(-2.0)
製造業	46.4	39.3	57.1	(17.8)
非製造業	50.0	59.7	50.0	(-9.7)

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

図表2-2 構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
平成27年	2	4.4%	28.9%	44.4%	17.8%	4.4%
	4	8.2%	36.7%	40.8%	12.2%	2.0%
	6	2.0%	32.0%	54.0%	6.0%	6.0%
(変化幅)		(-6.2)	(-4.7)	(13.2)	(-6.2)	(4.0)

図表2-3 各分野における景気の先行き判断DIの推移



3 現在の景気水準に対する判断（参考）

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった（注）。

図表 3 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移

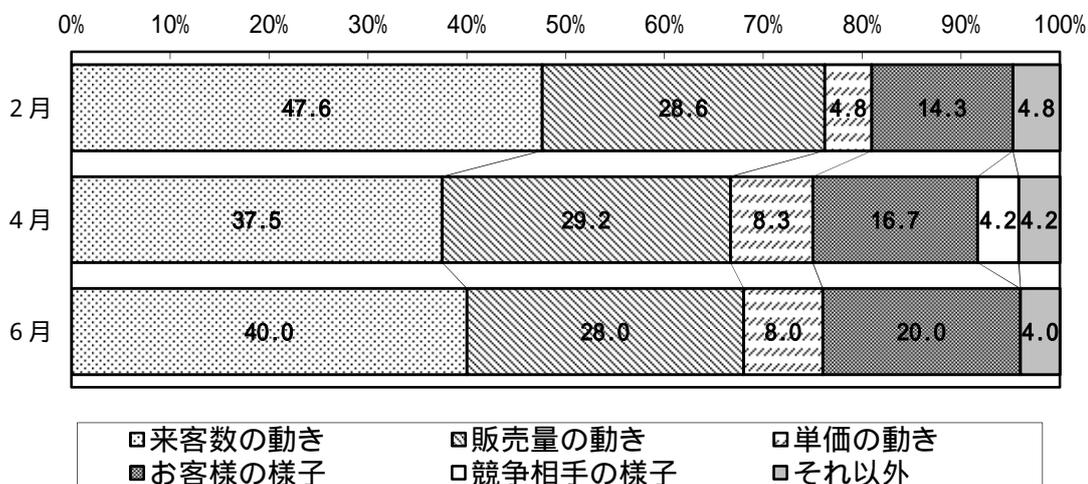
(D I)	平成27年		
	2月	4月	6月
合計	40.0	52.0	50.5
家計動向関連	40.5	56.3	54.0
小売関連	40.9	56.3	51.9
飲食関連	-	-	-
サービス関連	40.0	64.3	60.7
住宅関連	-	-	-
企業動向関連	39.6	48.0	47.0
製造業	28.6	53.6	42.9
非製造業	44.1	45.8	48.6

(備考)家計動向関連のうち、飲食関連、住宅関連については、サンプル数の関係で非公表としている。

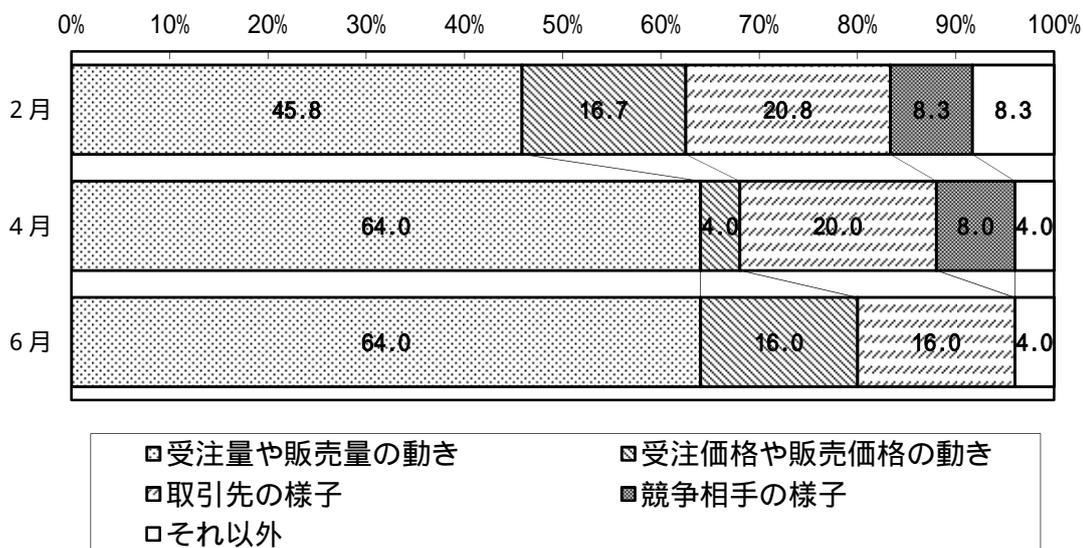
(注)景気の現状をとらえるには、景気の方加性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

4 (1) 景気の現状に対する判断理由着目点

家計動向関連



企業動向関連



注) 本グラフは景気の現状に対する判断理由着目点の構成比を示している。
割合が0%の場合、数値は表記していない。

4 (2) 景気の現状に対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・4～5月は旅行シーズンで来客数は多かった。6月は夏休み前で通常の状況だが、7月からは増える。
	やや良く なっている	一般小売店〔文具〕(販売担当)	お客様の様子	・目的買いの他、気に入った商品を併せて購入する客が多くなっている。
		百貨店(総務担当)	販売量の動き	・紳士、婦人の夏物ファッションアイテムやラグジュアリーブランド、宝飾品、時計等の高額品が順調に推移している。
		スーパー(店長)	来客数の動き	・観光客、特に、外国人が増えている。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・当店はホテルの下にあるため、宿泊客が多く利用している。
		高級レストラン(経営者)	お客様の様子	・法人関係の客の様子だが、業種により好、不況がはっきりしている。好況業種の客層が増加して売上増につながっているものの、予約は曜日や社内行事等の影響を受け、繁忙と閑散の波が激しい。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・春先の移動時期を過ぎても主要商品の光回線卸の販売数が順調に伸びている。
	変わらない	一般小売店〔食品〕(店長)	お客様の様子	・目立って良いとは思えないものの、客の品選びが幾分良くなってきたように感じられる。
		百貨店(総務担当)	来客数の動き	・訪日外国人はもちろん、国内の客も好調に推移している。
		百貨店(業務推進担当)	単価の動き	・来客数が増えても単価が変わらない、または下がっている。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークがあり、それなりに忙しかったが、今月は修学旅行生は来ているものの、一般の客が若干減っている。
		その他レジャー施設(経営者)	来客数の動き	・夜、街へ出てみると以前と比べて酔客の姿もちろほ見かけられるようになったが、人の流れはさほど変わっていない。また、当店の客は年金生活者が多いので、今後もあまり変化はない。
	やや悪く なっている	一般小売店〔靴〕(店長)	来客数の動き	・割引イベント時は集客につながるが、イベントをしないと売上が前年比マイナスとなるからである。
		スーパー(店長代行)	販売量の動き	・来客数、客単価は前年をやや上回るが、買上点数が減少している。
		衣料品専門店(店長)	それ以外	・訪日外国人の増加で当店の売上は好調であるが、その他の店舗の不振が続いている。また、急激な円安により取引先の廃業が出始めている。
衣料品専門店(店長)		来客数の動き	・来客数が減り、買上率も下がっている。また、1点購入するまでの時間が長くなり、複数買いが少なくなっている。	
都市型ホテル(広報担当)		お客様の様子	・年度替わりやボーナス前のためか、ゴールデンウィークが終了してから客の行動が少し落ち着いている。	
悪く なっている	-	-	-	-
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・現在、仕事は多々あるものの、見積合わせでは業者の数が多し。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・区内のどの商店街も人通りが多くなり、販売量も増加してきたようである。
	変わらない	出版業(経営者)	それ以外	・地下鉄に乗車した時の周りの様子だが、女性はおしなべて暗く、ビジネスは全体的に明るい。
		出版業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・何冊かのヒット作は出るが、昔のように50、100万部といった大ヒットにはならない。出版全体でいえば低調で変わらない。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・売上は前年同月に比べて良くなっているものの、前月と比べると変わらない。
通信業(営業担当)		受注量や販売量の動き	・大きな変化は出ていない。	
通信業(営業担当)	取引先の様子	・業種により、かなり状況に幅があると感じている。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		卸売業〔機械器具〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者ともあまり変化はないと話している。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注に対する問い合わせ等は、徐々にではあるが増加傾向にあるものの、コストは厳しい。
	やや悪くなっている	印刷業・製本業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィーク後からぐんと仕事が減ってきている。そのためか物件を取るための投げ売りが増えている。
		卸売業〔機械器具〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末が明けてからの受注量が少なく、増加傾向にはない。
	悪くなっている			

4 (3) 景気の先行きに対する判断理由

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	都市型ホテル(経営者)	・オリンピックに向けて、また、円安の影響や夏休みで観光客が増える。
	やや良くなる	一般小売店[文具](販売担当)	・賞与の増額、株高やインパウンド客の増加でやや良くなる。
		百貨店(総務担当)	・すべての商品群で順調な売上推移がみられ、免税販売額も引き続き好調に推移している。
		百貨店(広報担当)	・個人消費の回復と株価の上昇により、徐々に良い方向に向かう。
		スーパー(店長)	・地域内でのマンション建設が多く、人口増が見込める。
		高級レストラン(副店長)	・宴会状況や予約単価が前年より良い。
		一般レストラン(経営者)	・これから草市、祭り、花火大会、各企業の様々なイベント、キャンペーンが多くなってくるので、集客に関しては良くなる。
		通信会社(営業担当) 設計事務所(所長)	・ボーナス時期のため、消費量が上がる。 ・新年度になって予算化した物件の問い合わせが少しずつ来ている。
	変わらない	一般小売店[靴](店長)	・日本人の来店が少なく、外国人の売上が増えている。
		一般小売店[食品](店長)	・当町内は再開発のためほとんどの住民が一時転居しているため、町中の活気が今一つである。
		百貨店(総務担当)	・政治的リスク等の心配はあるものの、訪日外国人の動向は変わらず強いと考えられる。
		百貨店(業務推進担当)	・2~3か月先に景気が良くなるような具体的な内容がないので、良くなるとは思えない。
		スーパー(店長代行)	・必要な物以外は買わない方向にあり、現状維持が続く。
		コンビニ(店長)	・まだ分からない。
		衣料品専門店(店長)	・悪くなる要因も良くなる要因もなく、現状維持がいいところである。
		高級レストラン(経営者)	・社会の情勢が落ち着くまでは景気の波は静まらない。株や為替の上方安定が当業種にも好結果をもたらすと考えている。
		一般レストラン(経営者)	・来客数は増加しているものの、外国人客が多く、景気が良くなるような客層ではない。これ以上外国人客が増えると場所によりむしろ悪くなる。
		都市型ホテル(広報担当)	・営業収入で動きの変動がないためである。
		旅行代理店(支店長)	・良くなる要素がない。
通信会社(営業担当)		・社会全体の景気が変わらない限り、夏場を迎えても販売数がこのまま伸びるとは思えない。	
競馬場(職員)	・状況に特に変化がみられない。		
その他レジャー施設(経営者)	・5月はゴールデンウィークがあったので売上も落ち込んだが、6月はまあまあである。おそらく7月もこのままの状況で、8月は例年のとおり落ち込み、9月以降に期待というところである。		
やや悪くなる			
悪くなる	一般小売店[和菓子](経営者)	・原材料の値上げや円安が続いているため、必然的に悪くなってくる。	
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞業(経営者)	・夏休みに入れば訪日外国人が更に増える。
		印刷業・製本業(営業担当)	・マイナンバー制度や国勢調査等の印刷物、保険関係の改定に伴う印刷が今後2~3か月見込まれるが、一時的なものにすぎない。
		印刷業・製本業(経営者)	・販売促進のための費用を以前よりかけ始めている。
		通信業(営業担当)	・大手などの好調な業種の設備投資が改善されつつあるので、やや良くなるとみている。
		金融業[証券](営業担当)	・アメリカの景気回復が日本を含め、世界経済を刺激していく。
		卸売業[機械器具](従業員)	・利益面は不安が残るものの、受注量の増加に期待できる。
卸売業[機械器具](営業担当)	・受注見込みが少しはあるので、8~9月は若干良くなる。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		経営コンサルタント	・少しずつであるが、物流の量が増加してきている。客の買上にも増加がみられる。	
	変わらない	新聞業（営業担当）	・企業の広告出稿意欲に勢いがなく、今後も好材料が見当たらない。個人消費、特に、高額消費は回復しているというが、実感がない。	
		出版業（経営者） 出版業（営業担当）	・目先の景気改善や長期的な明るい展望は見当たらない。 ・生活必需品の値上がりが相次ぎ、家計に余裕があるようには思えない。政府の経済政策も一部の富裕層や大企業に限定されて、中小企業にまでは恩恵はない。	
		建設業（営業担当）	・仕事量が減少する傾向にあるが、急に悪くなるとは考えられない。	
		建設業（営業担当） 建設業（経営者）	・受注量が伸びていない。 ・2～3か月先の景気にあまり変化はない。円安、株高が続くとは思えないため、12月以降、徐々に下降線をたどる。	
		通信業（営業担当） 金融業〔証券〕（営業担当）	・変化する要素が見当たらない。 ・一般消費財等を中心に、円安傾向による原材料の値上がりによる粗利の低下が、ここへきてかなり顕著に感じられている。一概に一方的なトレンドとも言えないため、激しい景気圧迫とまではいかないものの、給与等を含む販売管理費圧縮への動きは出始めているように感じられる。	
		卸売業〔飲食料品（鮮魚）〕（経営者） 卸売業〔機械器具〕（経営者）	・今は良くなっているが、一本調子にはいかない。 ・得意先各社とも特別の変化はみられない。	
		その他サービス業〔造園・園芸〕（営業担当） その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（営業担当）	・特に目立った経済的な動きがみられない。 ・受注に向けた動きは多少活発になるが、競争は一段と厳しくなり、受注できたとしても利幅は少ない。	
		やや悪くなる	印刷業・製本業（営業担当） 輸送業（従業員）	・夏に向け、例年どおりであれば下降気味だが、更に下降する気配がある。 ・仕事の取引量が減り、売上減となるためである。
			悪くなる	

(別紙) 調査客体の分野・業種別人数構成

分野	業種	調査客体数 (人)
合計		50
家計動向関連		25
	小売関連	13
	商店街・一般小売店	4
	商店街代表者	0
	一般小売店経営者・店員	4
	百貨店	4
	百貨店売場主任・担当者	4
	スーパー	2
	スーパー店長・店員	2
	コンビニエンスストア	1
	コンビニエリア担当・店長	1
	衣料品専門店	2
	衣料品専門店経営者・店員	2
	家電量販店	0
	家電量販店経営者・店員	0
	乗用車・自動車備品販売店	0
	乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	0
	その他小売店	0
	住関連専門店経営者・店員	0
	その他専門店経営者・店員	0
	その他小売の動向を把握できる者	0
	飲食関連	4
	高級レストラン経営者・スタッフ	2
	一般レストラン経営者・スタッフ	2
	スナック経営者	0
	その他飲食の動向を把握できる者	0
	サービス関連	7
	旅行・交通関連	3
	観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0
	都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	2
	旅行代理店経営者・従業員	1
	タクシー運転手	0
	通信会社	2
	通信会社社員	2
	レジャー施設関連	2
	観光名所・遊園地・テーマパーク職員	0
	ゴルフ場経営者・従業員	0
	パチンコ店経営者・従業員	0
	競輪・競馬・競艇場職員	1
	その他レジャー施設職員	1
	その他サービス	0
	美容室経営者・従業員	0
	その他サービスの動向を把握できる者	0
	住宅関連	1
	設計事務所所長・職員	1
	住宅販売会社経営者・従業員	0
	その他住宅投資の動向を把握できる者	0
	その他家計の動向を把握できる者	0
企業動向関連		25
	農林水産業従業者	0
	鉱業経営者・従業員	0
	製造業経営者・従業員	7
	食品製造業	0
	繊維工業	0
	家具及び木材木製品製造業	0
	パルプ・紙・紙加工品製造業	0
	出版・印刷・同関連産業	7
	新聞業	2
	出版業	2
	印刷業・製本業	3
	その他出版・印刷・同関連産業	0
	化学工業	0
	石油製品・石炭製品製造業	0
	プラスチック製品製造業	0
	窯業・土石製品製造業	0
	鉄鋼業	0
	非鉄金属製造業	0
	金属製品製造業	0
	一般機械器具製造業	0
	電気機械器具製造業(精密機械を含む)	0
	輸送用機械器具製造業	0
	その他製造業	0
	非製造業経営者・従業員	18
	建設業	3
	輸送業	1
	通信業	2
	金融業	2
	不動産業	0
	卸売業	6
	繊維・衣服等	2
	飲食品	1
	建築材料・鉱物・金属材料等	0
	機械器具	3
	その他卸売業	0
	サービス業	4
	広告代理店・新聞販売店[広告]	0
	司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	1
	コピーサービス業	0
	その他サービス業	3
	その他非製造業	0
	その他企業の動向を把握できる者	0